

JBCFアジェンダ2022

2020年は、世界中が新型コロナウイルスのパンデミックリスクに見舞われ、各種スポーツイベントは存続の危機に直面しており、みな生き残りをかけた模索が続いています。当然、一般社団法人 全日本実業団連盟（通称：JBCF）も同様の状況に置かれています。

JBCFでは「JBCFアジェンダ2022」を設定し、現理事体制下（任期2022年3月）に於いては、下記の項目について優先して取り組むこととします。

- ① 2019年3月に発表した「2021年新リーグ構想」を一旦凍結し、まずは連盟の安定した経営を優先する
- ② 参加型レースとしての価値向上に立ち返り、底辺及び間口拡大に力を入れる
- ③ 持続可能な自転車レース運営組織の再構築に力を入れる
- ④ 新型コロナウイルス状況下に於ける新様式の自転車レースの運営形態を率先して開発していく
- ⑤ 近年多発している落車事故のメカニズムなどを研究し、より安全なロードレース運営を目指す
- ⑥ 2022年シーズンには正常化を果たし、改めて参加者ファーストの長期的な拡大戦略を目指していく

これからも、より魅力的な自転車ロードレース、トラックレースを開催できるよう務めてまいります。引き続きご期待、ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

2020年9月6日
一般社団法人 全日本実業団自転車競技連盟
理事長 安原 昌弘